

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2019年9月24日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2 -

Intraoral luting を応用したインプラント固定性上部構造の 1 症例

添島歯科医院 添島義樹

〒860-0805 熊本市中央区桜町 1-2 8-2 0 5 桜町センタービル 2F

抄録

近年のインプラント治療は、その術式およびマテリアルの進歩により、固定性上部構造におけるコンセンサスも確立されている。コンセンサスに準じた補綴設計を選択し、適応症を間違えなければ長期的な成功を得ることができる。しかし修復治療をしていくなかでの様々な過程における誤差は少なからずあり得る。特に欠損歯数が多くなるにしたがって、その傾向は大きくなる。こうした症例における補綴操作の誤差を軽減することは埋入したインプラント体および上部構造の永続性の維持につながる。

患者は2017年7月の初診時69歳。上顎無歯顎に対して、インプラント支台で固定性の欠損修復を希望して来院。解剖学的制約があったためクロスアーチのインプラント支台補綴装置での対応となった。本症例はアバットメントと補綴装置の適合性を向上するために口腔内接着法を応用し、セメントレスの上部構造で咬合再構成を行った。諸先生方のご意見、ご指導を仰ぎたい。